

コンストラクション ケミカル
化学の力で構造物の価値向上を図ります

DYFLEX TODAY 21



DYFLEX TODAY・21

株式会社 ダイフレックス

本社 〒163-0823 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル23F
Tel. 03-5381-1555 (代表) Fax. 03-5381-1566
http://www.dyflex.co.jp/ E-mail: info@dyflex.co.jp

営業企画グループ	Tel. 03-5381-1555	エコ・プロジェクト	Tel. 03-5381-1188
東京支店	Tel. 03-5381-0231	さいたま営業所	Tel. 048-646-4870
大阪支店	Tel. 06-6292-0511	多摩営業所	Tel. 03-5381-0883
札幌営業所	Tel. 011-737-5961	横浜営業所	Tel. 045-290-9751
仙台営業所	Tel. 022-788-1262	名古屋営業所	Tel. 052-735-3991
新潟営業所	Tel. 025-243-4691	広島営業所	Tel. 082-234-3783
千葉営業所	Tel. 047-436-1581	福岡営業所	Tel. 092-432-9220
		沖縄出張所	Tel. 098-874-8035



p1-2 ダイフレックスと恒和化学工業 —その主な足跡のご紹介



p3-4 タイル外壁を保全する、ダイフレックスの新提案!

p5-6 DYFLEX INFORMATION 設計価格が変更になりました

セミナーのご案内
『建築材料におけるエコマテリアルを考える』

皆様でご覧下さい



ISO9001
ISO9002
認証取得
(JQA-QM5412)



DYFLEX

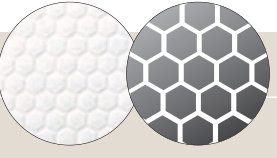
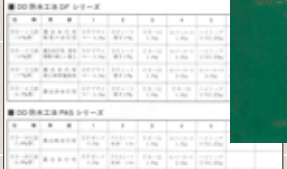


ダイフレックスと恒和 化学工業—その主な足跡のご紹介

「屋上・外壁・床面」における現場施工型の化学製品を総合的に 取り扱うコンストラクション ケミカルという、これまでにない事業領域のメーカーとしてスタートした、新しい ダイフレックス・グループ。その中核をなす2社について、「おっ!?こんなことをやってきた会社だったのか!」と皆様に感じて頂ける、その主な足跡をご紹介します。

株式会社 ダイフレックス

ウレタン防水材・外壁材・土木構造物保護材の製造・販売会社





主な足跡

1964年(昭和39年)	設立	
1976年(昭和52年)	「DD防水工法(X-1工法の原型)」を開発。 (特殊シートと塗膜防水材による複合防水工法の開発に成功)	
1989年(平成元年)	「DD防水工法」の実績が評価され、建設省建築工事共通仕様として「X-1」が誕生。	
1992年(平成4年)	超速硬化ウレタン機械化システム「クイックスプレー工法」を開発。 防水業界に機械化施工を導入。 施工品質の向上、工期短縮などに貢献。	
2000年(平成12年)	環境対応型水硬化ウレタン防水材、及び保険付長期保証防水工法「バリューズ」を開発。改修市場を考慮した商品開発と科学的品質管理を導入することで、安心・安全・確実な防水施工を実現。	
2006年(平成18年)	色調保持型タイル剥落防止工法「エバガード」を開発。	

DIA 恒和化学工業株式会社

60年の歴史を持つ、無機系外壁塗材の製造・販売会社

主な足跡

1946年(昭和21年)	創業。水性塗料の生産を開始。	
1948年(昭和23年)	「ダイヤペイント」を開発。	
1960年(昭和35年)	「ダイヤリシン」が日本住宅公団(現:独立行政法人都市再生機構)の指定材料となる。	
1967年(昭和42年)	「ダイヤモンドチック塗料」が日本住宅公団の指定材料となる。	
1983年(昭和58年)	構造物の劣化防止、補修市場に向けて、セメント系防錆防食塗料「セメンシヤス」を開発。	
2002年(平成14年)	超耐候・超低汚染形変性無機塗料「ダイヤスーパーセラ」を開発。	
2007年(平成19年)	ダイフレックスグループに加わる。 無機質・無溶剤の常温硬化型コーティング材「ダイヤセラゼックス」が、首都高速道路中央環状線で採用。	

主な施工実績



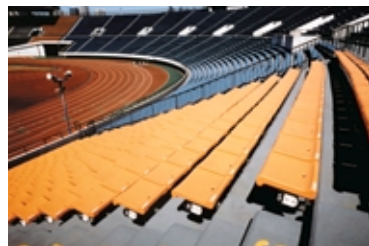
東北大学



東京有楽町駅周辺ビル群



旭川市旭山動物園



国立競技場



那覇空港立体駐車場



横浜国際会議場

主な施工実績



五稜郭タワー



千葉マリスタジアム



港南台ちどり団地



三河湾ガスターミナル

現在この2社は、全国の支店、営業所で同一事務所に机を並べ、日々密接に連携。
「一棟まるごと総合診断」など独自の
お手伝いを推進中です。

屋上防水



ひとつのメーカーでフルカバー!

chapter 2 タイル外壁を保全する、ダイフレックスの新提案!

コンストラクション ケミカル、新商品第一弾!

建築分野専門の化学メーカーとして、外回り丸ごとサポートを目指す新生ダイフレックスグループ。その新商品の第一弾として、これまでなかなか決め手がなかった「タイル外壁改修」をテーマとした、新工法群をご紹介します。これらを部位毎に使い分けることでコストを抑えることも可能です。ぜひ「タイル外壁改修」についてご相談ください。



この「タイル外壁改修」商品群のコンセプトは、

既存タイルの意匠維持!

そこに、さらにそれぞれの機能をプラスした各工法をご用意!

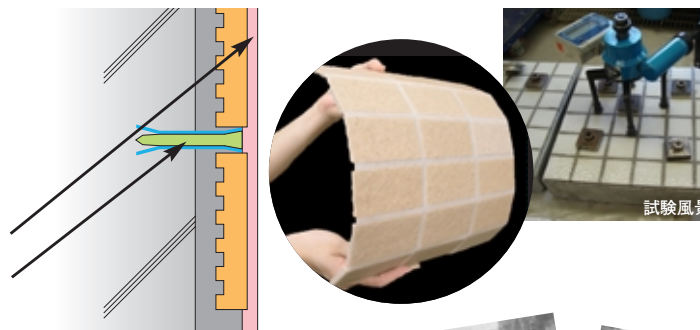
<p>全面補修</p> <p>剥落防止 & 防水</p> <p>エバーガード</p> <p>既存タイルの美観維持に、剥落防止、防水の機能を兼ね備えた工法。</p>	<p>部分補修</p> <p>剥落防止</p> <p>TSグラウト</p> <p>新発想で45二丁タイル陶片浮きの問題を解決した、外壁タイル注入工法。</p>	<p>部分補修</p> <p>防水</p> <p>クリアプラス</p> <p>美観維持に、防水機能を加えた工法。(剥落防止機能はありません)</p>
---	---	--

また、部位によってこれら工法の使い分けも可能!

エバーガード

① 確実な、剥離防止メカニズム

- 特殊繊維で強化したアクリル樹脂でタイルを一体化!
- 専用アンカーピンで、モルタル層からの剥離を防止!



② 確実な、施工体制

エバーガードでは、剥落防止をより確実なものとするために、認定施工者による責任施工体制をとっています。

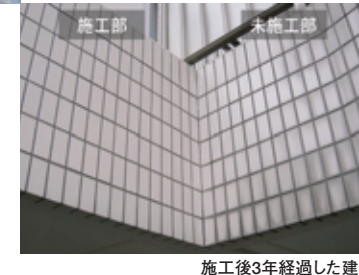


③ 美観の維持 汚れにくい! 変色しにくい!

自己洗浄効果のある親水型トップコートを採用。雨ダレ跡が残りにくく美観を維持。また変色もしにくく、タイルの質感をほとんど損ないません。

『日本建築仕上学会』への委託研究により、機能を確認!

日本建築学会に研究委託した報告書には、タイル外壁の剥落防止機能やタイルの質感保持を実験データにより実証。第三者機関によってもその性能を認めて頂いております。



TSグラウト

平成20年1月より販売予定

タイル陶片浮きに対し、これまで難しかったタイルの裏側への注入をより確実にした新工法。(特許出願中) タイルの部分補修に威力を発揮します。



クリアプラス

タイル面からの雨漏りを防ぐ機能+タイル外壁の美観を維持させる機能を兼ね備えた工法。(アンカーなし、繊維強化ではないアクリルを使用) 建物の部位や状態に合わせてお使いください。



各商品のパンフレットを差し上げます!

同封のFAX送信票にてお申し付けください。

●この他にも豊富にご用意!

外壁補修材については、この他にも恒和化学工業にて様々な種類を取り揃えております。あわせてご相談ください。



設計価格が変更になりました

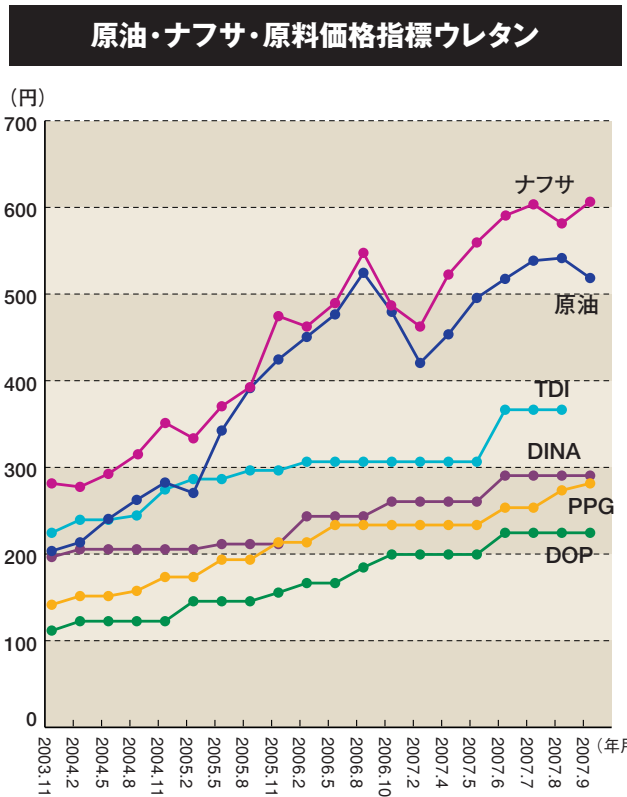
ウレタンの原材料の高騰が続いており、もはや企業努力だけではコストを吸収しきれない状況となり、やむなく9月1日より**設計価格を改定させて頂いております**。
今回は、そのお知らせとともに、原材料価格の推移についてまとめましたので、ご参照頂ければと存じます。

原材料価格の推移

ウレタンは石油化学製品の一種であり、ご存知のように原油価格がこの5年足らずの間に約2.5倍となり、それにほぼ連動してナフサの価格も上昇しています。

そのナフサから製造されるウレタンの主原料となるTDI、PPGなどの各材料も、右のグラフのように軒並み約2倍に上昇。その中でもTDIは、海外大手製造メーカーの定期修理期間のずれ込みや、中国製造メーカーの設備トラブルなどにも市場が敏感に反応して2007年6月の価格が急騰しています。

またウレタン原料は家具や建材、家電や自動車関連など幅広く使用されており、国内の建築需要だけでなく、中国を代表するように国際的な需給バランスが価格変動に大きな影響を与えています。



今後の動向について

原油・ナフサの価格動向は大勢の予測通り、今後も予測を許さない状況が続くものと思われまます。
また特に、BASFやバイエルなど大手化学会社は中国のウレタンの需要拡大を見込んで中国国内で原料製造プラントの稼働をスタートしており、その後も大型プラントへの投資を続けています。当面中国での需要拡大の流れも変わらないものと推測されます。



設計価格の改定内容について

別途、設計価格表を作成しております。詳しくは営業担当までお問い合わせください。

セミナーのご案内

『建築材料におけるエコマテリアルを考える』

田辺新一先生は、シックハウス問題の第一人者として活躍中!

- 厚生労働省「室内空気汚染に係るガイドライン」策定に携わる
- 元加賀小学校のシックスクール対策で同対策連絡会議の会長を務める
- 神奈川県「県立学校施設整備に伴う室内化学物質対策検討委員会」委員



【講師略歴】

1958年 福岡県生まれ
早稲田大学理工学部建築学科卒、同大学大学院修了、工学博士。
カリフォルニア大学バークレー校研究員、お茶の水女子大学助教授を経て現職。建築環境学が専門。
2002年～2003年デンマーク工科大学客員教授。
著書に「室内化学汚染・シックハウスの常識と対策」(講談社現代新書)など多数あり。
1989年アメリカ暖房冷凍学会R.G.Nevins賞受賞、2002年日本建築学会賞(論文)など

開催日時	平成19年11月16日(金) 15:00～17:30(開場14:30)
開催場所	東京ミッドタウン内ミッドタワー4F カンファレンスルーム
内容	1 基調講演 早稲田大学理工学部教授 田辺新一氏 テーマ:「室内空気汚染と環境対応型防水材料」 2 プレゼンテーション 株式会社ダイフレックス テーマ:「環境負荷の低減に貢献する建築材料のご紹介」
募集定員	100名(参加無料)
主催	ダイフレックス防水工事業協同組合 販売推進委員会



セミナーに関するお問い合わせはこちら → [ダイフレックス防水工事業協同組合事務局](http://www.diflex.co.jp)
TEL: 03-5381-0871